

神に栄光を帰し、永遠に神を喜びとする歩み

－『ウェストミンスター小教理問答』に学ぶキリスト教信仰－28

問 30 御霊は、キリストによって買い取られた贖いを、どのようにしてわたしたちに適用されるのですか。

御霊はわたしたちの内に信仰を生じさせ、それによってわたしたちを有効召命においてキリストに結びつけることにより、キリストによって買い取られた贖いをわたしたちに適用されます。

1. 「贖いの適用における有効な行為者」なる聖霊

問答は、この「キリストが手に入れた贖いが、わたしたちに分け与えられるのは、キリストの聖霊がそれをわたしたちに有効に当てはめてくださることによってです」と答えます。「わたしたちの中に信仰を働かせ、それによってわたしたちを有効召命においてキリストに結びつけることによって」キリストが獲得してくださった贖い、即ちわたしたちの救いと永遠の生命を、わたしたち一人一人に適用してくださるのは、聖霊でした。この聖霊の働きがなければ、せっかくのキリストの贖いの御業も、無意味なものになってしまいます。「我々がキリストの外に立ち、そして彼から離れて立つ限り、彼が人類の救いのために苦しみたもうたこと、また成し遂げたことの一切は、我々にとって無益であり、何一つの意義をも持たない」のです（綱要3篇1章1節）。そこで聖霊の働きが必要とされるのであって、聖霊の働きによってわたしたちは「キリストとその一切の賜物とを享受することができる」のです。なぜなら「聖霊はキリストが我々を有効にご自身と結びつけたもうための絆」（同）だからです。そのことを「聖霊についての宣言」では、「み父が、求めてくるすべての者に、み子を通していつでも喜んで賜わる聖霊は、贖いの適用における唯一の有効な行為者であられる」と告白します。わたしたちに神からの救いをもたらし、その救いによって神の子とし、神の子としての特権のすべてをわたしたちにもたらしてくださるのは、すべて聖霊の働きなのです。そしてこの聖霊の働きは、人間の働きのように中途半端に終わるものではなく、かならず「有効に」確実に働いて、わたしたちをキリストへと、またキリストがわたしたちのために獲得してくださった恵みのすべてへと結びつけてくださるのです。

2. 信仰による救い

わたしたちが救いを得るのは、信仰によってです。「口でイエスは主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるから

です。実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです」(ローマ 10 章 9、10 節)。信仰がわたしたちを救いに至らせませす。ところでその信仰は、一体どこから来るのでしょうか。確かに信仰は「私」が信じるということで、そこでは信仰者の主体性が求められます。けれども「私が」信じるということだけであるなら、それはなんと脆弱な基盤の上に成り立つ救いでしょうか。わたしたちは自分が確かに信じていると、確信を持って断言できるほど確かな信仰を持っているのでしょうか。ここで私の「信仰」の背後にあるものが現わされてくるのです。他ならないこの私が信じる信仰は、実は聖霊によってもたらされ、神によって与えられた賜物であるということです。「あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です」(エフェソ 2 章 8 節)。わたしたちの救いと永遠の命という恵みのすべてを獲得してくださったのは、主イエスでしたから、その宝は全て主の許にあります。ですからその主の宝をわたしたちが獲得するには、その主と結びつく必要があります。信仰とは、主のもとにある祝福の全てを、わたしたちの許にもたらずパイプ、通路のようなものです。この信仰という通路を通じて、永遠の命というキリストの恵みがわたしたち自身のもつとされるのです。そこで聖霊は、この信仰をわたしたち自身の内に起こし、与えられると同時に、その信仰をキリストへと結合させてくださるのです。聖霊はわたしたちと主とを結びつける「絆」なのです。この聖霊が絆となってわたしたちをキリストに結びつけ、そこにある宝の一切をわたしたちにもたらしめてくださるのです。このことについてウェストミンスター大教理問答では、次のように語ります。

問 66 選ばれた者がキリストと持つ結合とは何ですか。

選ばれた者がキリストと持つ結合とは、神の恵みの御業であり、それによって彼らは、霊的かつ神秘的に、しかも、現実的かつ不可分に、彼らの頭であり夫であるキリストに結び合わされます。それは、彼らの有効召命においてなされます。